

## テーマ検討会 (SSH 探究2) 2016.5.25

現在 2 年理数科は、これから 1 年間かけて研究するテーマを考えています。ネットで調べたり、担当する理科・数学の先生方に相談して研究テーマを決定するところに来ています。

5 月 25 日 (水) SSH 探究Ⅱの授業 (5,6 校時) には琉球大学から理数系の先生方をお招きして各グループが考えていることをプレゼンし、研究テーマについて「より良い研究にするにはどのようにすればよいか」をアドバイスいただきました。

琉大の先生方への発表で緊張していたようですが、放課後など時間を見つけてはこの日のために準備をしていたのでよく頑張っていました。自分の発表もそうですが、同級生のプレゼンをみることで、たくさん刺激を受けたのではないのでしょうか。会終了後も、先生方を取り囲んで質問する様から、「やる気があるな」「頑張っているね」と嬉しい言葉をいただきました。専門家である大学の先生方の指摘を受けて、研究の方向性も早めに決定し、探究活動に取り組んで下さい。発表する勇気や、伝える難しさも学ぶことができ、これからの活動が楽しみですね。



## 第 1 回 SSH 運営指導委員会 2016.5.25

### H 運営指導委員会

5 月 25 日 (水) 15:50 ~ 17:10 にラボ室にて琉大の先生方をお招きして第 1 回 SSH 運営指導委員会が開催されました。今年度の球陽高校の SSH 事業へのアドバイスをいただく委員会です。

運営指導委員長には琉球大学の理事・副学長の西田睦氏に決定しました。

委嘱状交付式の様子

今後、委員の皆様にはいろいろアドバイスや、講演会をやっていただくよう要請をしました。

「1 度の講演ではなく機会があれば数回講義を行いたい」と意欲的な委員の先生発言も有り大いに盛り上がりました。



左端が委員長 西田氏

中間発表や SSH 生徒成果発表会でもお世話になります。

## SSH 科学英語講座

5月26日(木)放課後 ラボ室にて SSH 科学英語講座「タンパク質とガンの研究」がありました。OIST からリナワティ・プルバ・エンダン研究員が自身の研究についてクイズをおりまぜて楽しくお話ししていただきました。“リナ”さんは、冒頭に生まれ故郷のインドネシアの文化や、沖縄 OIST にきた経緯を話され、ガンと EGFR についての関係を優しく教えていただきました。質疑応答を含め 5 時までの予定が、生徒の皆さんの質問も多く時間オーバーでしたが、笑顔で対応していただきました。

"The students are very smart. This study is very difficult to understand but they gave us a lot of questions. So we had a lot of fun!!!"

とお褒めの言葉も頂きました。

生徒の感想

"It was so wonderful!!!"

The science English was so difficult but I could understand some parts of presentation and enjoy.

